

## JA 粕屋 青年部

### ○活動基本方針

国際貿易交渉において、日EU・EPA及びTPP11の発効で、我が国の国境措置は今後確実に引き下げられることになり、また今後日米物品貿易協定交渉の進展があれば、日本は農業分野でTPPを超えるレベルの市場開放を迫られる可能性もあり、国内農業・農村への更なる影響が懸念される。

また令和元年度は、わが国の食料・農業・農村基本法が制定されて20年の節目であり、同法に基づく5回目の食料・農業・農村基本法計画の策定が進められる年でもある。このような情勢において、我々は「持続可能な食と地域づくり」を提起していかなければならない。

一方で、農協改革については、我々農業者が主体となったJAの自己改革により、政府の追求は現在鳴りを潜める形となっているが、引き続きその動向を注目しつつ、政府の進める急進的な農業・農協改革への動きが、我々現場の実態・ニーズに基づいたものではない場合は、農業現場の声を反映できるように運動を展開する必要がある。

このような中、我々青年農業者は地産地消を目的とし、安全・安心な農産物を供給し、農業経営の向上と地域の活性化等に貢献するとともに、地域農業のリーダーとして組織の拡充強化と農協運動の先駆者とならなければならない。

さらに、次世代を担う子供達に、健全な食・環境等を引き継ぐために、「消費者」という観点から問題意識を共有し、取り組まなければならない。

#### 1. 組織活動の活性化

JA青年部組織活動の問題点を洗い直し、将来の農業・農村を展望しつつ、青年部の役割を明らかにし、組織の活性化を図ります。

また、JA青年部盟友が、幅広く参加できる活動を展開します。

#### 2. 消費者対策の強化

次世代を担う子どもたちに、健全な食・環境等を引き継ぐために、生産者・消費者という立場を超えて問題意識を共有し、取り組みます。

- 1) 管内小学校学童農園の活動支援
- 2) 支部活動の強化

#### 3. 学習活動の徹底

青年部組織・JAグループを一層発展させるため、盟友自らの学習活動の強化を図ります。また、県青協・九青協・全青協等の研修会や大会に積極的に参加し、盟友の資質向上に努めます。

○第37回 J A粕屋青年部通常総会



令和元年5月17日、J A粕屋青年部通常総会を開催。平成30年度の活動報告並びに収支決算報告、令和元年度の活動計画並びに収支予算が承認されました。

○令和元年度活動計画

月	J A粕屋	県青協総会・その他
4月	新旧役員会	福岡地区J A青年部協議会通常総会 J A福岡県青協通常総会・県青協委員会
5月	学童農園（種まき、田植え） 第37回J A粕屋青年部通常総会	県青協委員会
6月	学童農園（田植え） スイートコーン収穫祭・新入職員との交流会 役員会	青年部長・事務局合同会議 県青協委員会 食と農の日記念イベント
7月	学童農園・手作り看板作製	九青協リーダー研修会
8月	役員会	J A青年部盟友交流会 青年部長・事務局合同会議・
9月	学童農園（稲刈り） JA粕屋常勤役員と青年部との意見交換会	県青協委員会 J A福岡県青協リーダー研修会
10月	学童農園（稲刈り）	福岡県青年部大会
11月	農業まつりもちつき	県青協委員会
12月		九州沖縄地区青年部大会
1月		J A九青協農業経営対策研修会
2月	役員選考委員会・役員会 青年部歴代役員OB会	J A全国青年大会 福岡県選出国會議員とJ A青年部との懇談会 アグリネクストFUKUOKA
3月	役員選考委員会・役員会	県青協委員会
全月	盟友勧誘運動・農業新聞・地上購読推進 車検・組合員の加入促進運動 粕屋ブランドPR活動・認証取得活動	海外セミナー募集活動

## ○平成30年度活動報告

### ○学童農園で農業体験学習支援

J A粕屋管内の幼稚園や小学校で、種まきから田植え・稲刈りまで一連の農作業を体験してもらい、日本の主食である「お米」がどれだけの手間をかけて食卓に並ぶのかを学んでもらいました。



### ○J A粕屋青年部古賀支部スイートコーン収穫祭・収穫体験開催

平成30年6月24日、古賀グリーンパーク内のコスモス館にてJ A粕屋青年部古賀支部が育てた糖度18度以上のスイートコーンを早朝に収穫し、実演販売や親子で収穫体験を実施。その他、地元農産物をPRする目的でJ A粕屋青年部の有志が生み出したヒーローも祭りをもりあげます。





○手作り看板作成

平成30年6月30日「農業のある地域づくりの大切さに関する地域住民へのアピール」をテーマに手作り看板の制作を行いました。



○JA粕屋青年部もちつき

JA粕屋青年部は毎年、粕屋農業まつりでもちつきコーナーを担当。もちの販売を行っています。

